

2022年7月19日

各位

会社名 株式会社ビューティガレージ  
 代表者名 代表取締役CEO 野村 秀輝  
 (コード番号:3180 東証プライム)  
 問合せ先 執行役員経営管理グループ統括 齋藤 高広  
 (TEL. 03-6805-9785)

上場維持基準の適合に向けた計画(新規)

当社は、2021年6月末の移行基準日時点では上場維持基準を満たしており、2022年4月4日よりプライム市場に移行いたしました。同年4月末時点において、プライム市場における上場維持基準に一部適合しない判定結果となりました。そのため、下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年4月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、下表のとおり、上場維持基準に適合するために、次の通り各種取組を進めてまいります。なお、計画期間については、2020年6月に発表しております「中期経営計画2020-2024」の最終年度である2025年4月末と致します。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2021年6月30日 時点)	2,597人	31,501単位	122億円	49.4%
当社の状況 (2022年4月30日 時点)	3,247人	31,512単位	89.8億円*	49.4%
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%
計画書に記載の項目			○	
計画期間			2025年4月末	

※流通株式時価総額の基準となる株価は、事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値である2,851円(小数点以下、省略)を用いて算出しております。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

当社は、既に発表しております「中期経営計画2020-2024」の着実な実行による業績面での持続的な成長、IRの充実等によって、時価総額の向上を図ってまいります。

## 3. 上場維持基準に適合していない項目の課題と取組内容

当社は、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円以上を満たすため、下記①～④の取り組みを予定しております。その中でも①中期経営計画の着実な実行を最重要事項と認識しており、①の実現によって、流通株式時価総額100億円以上を満たせる見込みですが、更に②IRの充実、③新規事業の成長、④流通株式比率の増加について取り組むことでより確実なものに出来ると考えております。①～④の具体的な取組内容は以下となります。

### ① 中期経営計画の着実な実行

当社は、2020年6月に「中期経営計画2020-2024」を発表しております(2021年6月に数値目標は上方修正済)。中期経営計画の中で、基本戦略として「プラットフォーム機能を最大化し、BtoB美容商材EC流通における圧倒的な地位を早期に確立する」と宣言しており、商品ラインナップの拡充、利便性の向上、オムニチャネル型販売の最適化、物流機能のレベルアップ等、戦略に基づいた各基本方針を着実に実行していくことで、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

※①における数値目標実現により(2024年度で経常利益21億円)、中期経営計画最終年度の2025年4月末時点で一株当たり当期純利益は想定で199円見込みとなり、発行済株式総数と事業年度の末日以前3か月間の平均PER(株価収益率)が約25倍から変わらないと仮定すると、仮に流通株式比率が変わらないとしても流通株式時価総額が159億円となり、100億円を大きく超える見込みです。

### ② IRの充実

当社は、いわゆる美容サロン向けに特化したBtoB美容商材卸売業を中心としており、一般投資家からの知名度も高くなく、事業内容・成長性についての理解も進んでいない状況です。当社グループの知名度向上、事業内容・成長性への理解促進を目指し、投資家向け情報発信の更なる充実(IR情報の拡充、定期的な決算説明会の実施、投資家面談数の増加など投資家との対話機会の拡充等)に努めてまいります。

### ③ 新規事業/新サービスの成長と収益化

中期経営計画の業績数値に織り込んでいない、新規事業/新サービス(フィットネス/スポーツジム業界向け商材流通事業やSaaS型の美容サロン向けネットショップ構築支援サービス等)の着実な成長と収益化に努めてまいります。

### ④ 流通株式比率の増加

大株主の持分放出や新たな資本政策によって、流通株式比率の増加を目指してまいります。

以上